

第4回清水町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会会議録

日 時 令和6年2月20日(火)
午後2時30分より午後2時45分
場 所 保健福祉センター 2階研修室

出席委員：真野篤氏、佐藤秀美氏、関上恵介氏、高橋やよい氏、小笠原敏子氏、櫻井美紀子氏、
欠席委員：脇原康誠氏、土屋博敬氏、安ヶ平美香氏
町出席者：藤田保健福祉課長、鎌田課長補佐、清水介護保険係主事
研究員等：
傍聴者：報道1社

1 開会

真野委員長挨拶

足元の悪い中参加いただきありがとうございます。早いもので策定委員会も本日を入れると4回、皆さん方の慎重なご審議をいただき本日を迎えられるかなと思います。今日は町に対して計画書の答申も予定されております。最後となりますけども、皆様方からの貴重なご意見を伺いながら無事閉会できればと思いますので、よろしくご審議のほどお願いいたします。

2 出席者確認

保健福祉課長より委員6名の出席と委員3名の欠席を報告

3 議事

(1) 町民意見提出制度の実施結果について

今回実施した町民意見提出制度において、提出された意見はないことを報告した。

《委員からの質疑等なし》

(2) 第9期清水町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について

次の点について説明

- ・厚生労働省地域包括ケア「見える化」システムの推計により、人口及び第1号被保険者数を修正。
- ・上記に伴い、準備基金5,000万円から5,850万円取り崩しへ変更。ただし、保険料基準月額に変更なしで5,900円のまま。
- ・その他数値が微妙に変更している部分があるが、全体の動向は変更なし。

《委員からの質疑等なし》

(3) その他

なし

4 計画書の答申について

同会場において、真野委員長から阿部町長へ答申書を提出した。

5 清水町長閉会挨拶

阿部町長より挨拶

皆様改めまして今日はお疲れ様でございます。第4回の清水町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会ということで、一番最初に私来て、挨拶させていただいた記憶があるんですけど、皆様におかれましては協議を慎重に重ねていただいた中で、今日の答申をいただいたところであります。しっかりと内容についてはまた私の方も、もうすでに事務局とはいろんなことをしながら介護保険を5,900円としたということであります。その中で5,800万の基金を最終的に取り崩しました。ただ、たまたま清水町は1億円以上の基金がありましたので、上り幅をちょっと抑えた計画ができました。昨日の新聞では、鹿追で6,400円という話があったり、もっと高いところがあったりとか、今回も中間位のところでいけば皆様に納得していただける計画が成り立つのでないのかと思います、なんとか基金を取り崩しながらも、19市町村あるうちの10番目、11番目、9番目くらいにあったんですけど、今年もそれくらいの位置づけにあるんじゃないかと思います。まだまだ介護の部分については、保険料を納める第1号保険者は少し減っているんですけど、これからいろんな流れの中でいくとまだまだ65歳以上の人が減って、医療の部分は少し下がってくるんだけど、介護の部分についてはまだまだ、75歳以上の人口は相変わらず増えていますので、そんなことを含めるとまだまだ数年、5年、7、8年は続いてくるんじゃないかと思います。そのあたりも含めて長期の見通しの中でいろいろと介護福祉計画を立てていければなと思っております。今後についても皆様のいろいろなところの中で、途中でも結構ですので意見をいただきながらしっかりと乗り切っていければと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。改めまして、今回の策定計画にあたりまして皆様のお力添えをいただきましたことにお礼を申し上げまして、私の挨拶をさせていただきます。本日は本当にどうもありがとうございました。